

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2015年日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

2. 競技方法について

- ①競技に際してはオールウェザー用のスパイク又はシューズを使用すること。
スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ピンの数は、11本以内とする。
- ②スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
- ④不正スタートは同じ競技者が2回不正スタート場合、失格とする。
- ⑤リレー種目におけるテークオーバーゾーン手前10mの補助ゾーンは使用してもよい。
- ⑥80mハードルの規定

スタートから第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m

- ⑦走高跳（はさみ跳）は、マットへの着地は足裏からとし背・腰等からの着地は無効試技とする。

走高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまでは下の通りである。

	種 別	練 習	1	2	3	4	
走高跳	男 子	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	以降 3cm
	女 子	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	以降 3cm

- ⑧リレーオーダーはプログラムに記載されている選手以外は認めない。
リレー競走においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。
- ⑨男女100mはタイムレースで行い、上位記録8名または16名を決勝に進出させる。
決勝1組目（上位記録1位―8位） 決勝2組目（下位記録9位―16位）とする。
予選各組で上位に入っても決勝に進出できるとは限りません。

- ⑩走幅跳の試技は3回とする

- ⑪ヴォーテックスロー競技方法

場所・・・やり投ピット（投てき角度もやり投同様）

回数・・・1人3回（全員）

助走・・・15m以内とする。

3. 場内指令について

選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。

ただし、各チーム監督、コーチ2名の入場を許可する。その場合は主催者が用意する許可証を必ず付けること。

***競技者の本部前の通行は厳禁とする。**

4. 練習について

競技場内でのウォーミングアップ及びクーリングダウンは、バックストレッチ後方の補助競技場とする。

7時30分から8時30分までウォーミングアップにトラックのみ開放します。

5. 招集について

- ①招集所は、バックストレッチ後方付近の場外に設ける。
- ②種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程の記載とおりとする。
- ③招集の方法については、次の通りである。
 - ・競技に出場する際のナンバーカードをつけたランニングまたはTシャツ等を着用し集合する。
 - ・選手は、招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。
その際、ナンバーカード・スパイクピンの点検を受ける。
 - ・招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。
 - ・2種目同時出場する場合は別に特別ルールを設けます。(別紙参照する事)
- ④その種目にやむを得ず棄権するときは、その旨を競技者係に申し出ること。
- ⑤リレーオーダー用紙は、予選は10時、決勝は14時までに所定の用紙に記入し
情報処理室に提出すること。
ただし、変更が発生した場合は、招集開始1時間前までに情報処理室に変更を連絡すること。
(用紙は受付時にプログラムと一緒に受取ること。)
オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。
以上2、3については監督・保護者は、チームに徹底させること。

5. 表彰

- ①決勝6位までの入賞者は表彰を行うので成績発表後、直ちに本部の受賞者席に集合すること。
- ②最優秀選手賞を、男子1名、女子1名の計2名を選考委員会で選び、競技会終了後授与する。

6. 競技場への入退場は、すべて係員の誘導指示を受けること。

7. ナンバーカードは、ユニホームの胸と背に確実に付けること。

跳躍種目はこの限りでない。

8. レーン順、試技順について

- ①トラック競技の予選におけるレーン順及びフィールド競技試技順はプログラム記載の順とする。
- ②トラック種目においては、欠場者のレーンは空ける。

9. チーム控え場所及びスタンドの清掃は、監督・保護者の指示により確実に行うこと。

各チーム(学校)で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

10. その他

- ①大会中のケガについては、応急処置のみ行いますが、その他の責任は一切負いません。
- ②個人情報の取り扱いについて
 - (1)本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - (2)参加申込みの提出により、上記(1)の取扱いに承諾したものと見なし、氏名、クラブ名、学年、記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。
入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - (3)本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞、ホームページ等に公表されることがある。
- ③盗難防止のため、貴重品等は各チーム・各自で保管する。
競技場内での盗難には十分注意する。

2 種目同時出場する選手は特別ルールを設けます。

例えば

〇〇陸上クラブのA君が走幅跳の競技をしている途中で、100mの招集開始時間になりました。

このような場合

A君は走幅跳の競技を続け、チームの監督、コーチまたは保護者が、代理人として招集所で100mの点呼を受け招集完了とします。

代理人は招集完了後、その場で待機し、競技者系の指示に従って他の競技者と一緒に競技場所に移動してください。

A君は、走幅跳の競技終了後すみやかに100mのスタート地点まで移動する事。

代理人とは

受付した時に支給された、監督・コーチ証の名札を着用した方です。

名札未着用のチーム関係者は代理人として認めません。

また招集所付近の立入りを禁止します。

各クラブチーム関係者、保護者の方においては周知徹底お願いします。